

第37回全国公民館セミナー要項

1. テーマ:つなぐ・はぐくむ・ひらく

一次世代へとつなぐ公民館活動のしくみづくりー

2. 会期:2026年2月2日(月)～2月4日(水)

3. 会場:明治安田ホール

(東京駅、有楽町駅から徒歩5分)

4. 主催:公益社団法人 全国公民館連合会

5. 協賛:明治安田生命保険相互会社

6. 定員:120人

7. 参加費:無料



8. この研修の目的

本セミナーでは、次の時代へ地域をつないでいくために、公民館がどのような役割を果たせるのか、一緒に考えます。
全国各地で特色ある優れた実践を重ねている公民館の活動から、これからの公民館活動のあり方や方向性を探り、明日からの実践につながるヒントを共有します。

9. プログラム(予定)

※内容は、予告なく変更することがあります。

(最新情報は、全公連のホームページをご確認ください)

1/15(木)14:00～16:00

オンライン事前ミーティング【できるだけ参加をお願いします】

司会:景山 良一さん(島根県飯南町赤名公民館主事)

【内容(予定)】

・3日間の簡単な説明とねらい、グループワークなどで交流

2/2(月)【1日目】

(1)開会行事(13時～13時10分)

全体司会：景山 良一さん(島根県赤名公民館主事)

(2)施策説明(13時10分～13時45分)

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

高田 行紀さん(文部科学省生涯学習政策局地域学習推進課長)

(3)シンポジウム(14時～17時15分)

「次世代へつながる公民館のしくみづくり」

コーディネーター：青山 鉄兵さん(文教大学准教授)

パネリスト

大畑 伸幸さん／NPO 法人おむすび理事長、元益田市教育委員会生涯学習課長

南 信之介さん／那覇市繁多川公民館館長

(4)情報交換会(18時～20時)【参加無料】



2/3(火)【2日目】

(5)事例発表・グループワーク(9時～14時)

進行:景山 良一さん(島根県赤名公民館主事)

発話:栗山 宗大さん(映像作家、脚本家)

事例発表

※全国で優れた「次世代へとつなぐ公民館」活動をしている事例を紹介。

※その事例を聞いたあとにグループワークで、より深めていきます。

・永山 雅子さん(富山市神保公民館主事)【富山県】

・円山 洋輔さん(古賀町柿木公民館主事)【島根県】

・柳澤 礼子さん(佐久市中央公民館館長)【長野県】

(6)映画&トーク(14時～17時)

映画「若者が地域のミライをひらく」鑑賞&トーク

※第47回全国公民館研究集会東京大会で公開した公民館映画を上映。

その映画の内容について詳細やエピソードを聞き、その映画で扱われた公民館事例に登場した職員による活動紹介を行い、深掘りしていきます。

実践発表

・為政 久雄さん(広島市亀山公民館主事)【広島県】

・野嶋 京登さん(浜松市中央区まちづくり推進課)【静岡県】

2/4(水)【3日目】

(7)公民館の困りごとを解決する！(9時～12時20分)

※公民館で最近よく取り上げられる困りごとを専門家の立場から解説していただき、みんなで共有します。

①「公民館活動で知っておきたい 著作権のあれこれ」

講師:宮武 久佳さん(東京理科大学嘱託教授)

②「社会教育法第23条の現在地」

講師:内田 光俊さん(岡山市西大寺公民館館長)

③「公民館でのアクシデントを防ぐリスクマネジメント」

講師:梅山 吾郎さん(SOMPOリスクマネジメント技術士)

(8)閉会行事(12:20～12:30)

講師プロフィール

■景山 良一(かげやま りょういち)／島根県飯南町赤名公民館主事

水稻・野菜苗育苗、JA職員(営農指導)、自動車整備を経て、現在公民館主事13年目。異動前の頓原公民館では小さな拠点づくり事業で、地域資源を紹介するフリーペーパー「とんばらぼん。」を制作。また、地域の困りごととして上位に挙がった「健康・交通・買い物」について包括的に解決するため関係部局、事業所と連携した送迎付き『長生き体操』『買い物支援』を実施。当時から、子ども対象事業を利用していた若者世代を集め、ファシリテーターとして関わりながら若者世代がやりたいことを地域で実現できる場づくりなど、いろいろな切り口で地域住民が地域参画する機会を創出している。個人としては“活動写真弁士”の顔も持ち、地元小学生の指導もおこなっている。現在の夢は、小学生が書く“将来の夢”欄に「公民館主事」と書いてもらえるような公民館主事になること。



■青山 鉄兵(あおやま てっぺい)／文教大学人間科学部准教授

文教大学人間科学部准教授。子ども・若者の社会教育を中心に研究・実践・政策に関わる。現在、文部科学省生涯学習調査官、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員、中央教育審議会社会教育のあり方に関する特別部会委員。



■大畑 伸幸(おおはた のぶゆき)／元益田市教育委員会ひとづくり推進監、NPO 法人おむすび理事長、ネイチャーキッズ寺子屋代表

小学校8年、中学校10年、社会教育20年と様々な教育現場を体験。平成11年から島根県独自の「地域教育コーディネーター」として、「学社融合」を推進。

平成22年から勤務した蔵木中学校(全校生徒21名)では、地域との交流も交えた活動を次々に実施。学校を地域の拠点化するためのさまざまな実践を行った。また、中学校の統廃合問題が議論される中、隣接の小規模中学校との1か月にわたる丸1日と一緒に過ごす合同授業を



実施するなど、ダイナミックな学校運営に取り組んだ。

その後、益田市教育委員会社会教育課に異動。「地域ぐるみでの子どもの育成」を推進すると同時に、「社会教育がまちづくり、ひとづくりの基盤」をモットーに、公民館活動の活性化や社会教育の新たな展開を推進。「学校」を新たな地域の拠点とする、益田モデルの構築を段階的に進め、小学校を再編しない方針決定にも参画。

また、平成27年度より、「益田市総合戦略」の柱の一つである「ひとづくり」を担当し、益田市の次世代育成をめざす「益田市未来を担う人づくり計画」の策定に携わり、学校教育、社会教育でさまざまな取り組みを推進。平成29年度からは、「益田市ひとづくり協働構想」(仕事の担い手、地域づくりの担い手、未来の担い手の育成)の全庁での推進を担う、ひとづくり推進監となる。コミュニティスクールには、益田市独自の「社会教育コーディネーター」を配置し、公民館と協働し、学校教育・社会教育の連携や学校外での子どもたちの育ちの場作りを進め、子どもを中心に据えたまちづくりへと発展し、中高生が、地域でダイナミックに地域の大人と活動づくりを進めている。

現在は、NPO 法人「おむすび」(2024 年3月設立)で、子どもたちの野外体験活動や大学生ワークキャンプ、木育体験活動などを実施するとともに、中間支援組織への支援とネットワーク化等を進めている。

■南信乃介(みなみしんのすけ)／那覇市繁多川公民館長

沖縄県那覇市出身。平成 12 年京都精華大学入学、環境社会学科で市民参加まちづくりの基礎を学ぶ。平成 19 年特定非営利活動法人なはまちづくりネットに加入し、平成21年度より公民館リーダー。繁多川公民館は、文部科学大臣優良公民館表彰受賞、地域再生大賞優秀賞受賞、朝日教育のびのび賞、農林水産安全局長賞。平成 26 年 3 月より特定非営利活動法人 1 万人井戸端会議を設立。同年 4 月より那覇市繁多川公民館の一部業務受託団体となり、平成 27 年 4 月より指定管理者。現在、繁多川公民館館長。



平成 29 年度から“アラブの春”後のエジプトとネット中継での合同講座や現地訪問し、日本の公民館をエジプトにつくる活動を展開し、現在でも続けている。また令和3年に企画・発刊した『公民館のしあさって』が話題となり、全国各地でイベントや読書会が開かれた。令和5年には、東京の六本木で「公民館しあさって」展を1ヶ月間開催し、公民館の新しいトレンドを生み出した。

そのほか、NPO法人 1 万人井戸端会議代表理事、NPO法人まちなか研究所わくわく理事、沖縄県社会教育委員、日本 NPO センター評議員なども務めている。

■栗山 宗大(くりやま むねひろ)／映像作家・脚本家

地域社会やコミュニティを題材とした映像・映画作品を数多く手がけている。日本初の「市民参加型映画事業」のモデルをデザインした、ものがたり法人 FireWorks を創業。地域住民が自らの地域のために映画を製作するプロジェクトの創発・プロデュースに関わる。



岐阜県恵那市において 3 万人以上の住民が参加して制作された映画「ふるさとがえり」は、全国各地で今でもロングラン上映されつづけている。

■柳澤 礼子(やなぎさわ れいこ)／佐久市中央公民館館長

長野県内小中学校教諭・文部科学教官・県教育委員会指導主事等、学校教育畑に 38 年間勤務。佐久市立望月小学校長を最後に定年退職後、佐久市中央公民館長となり 6 年目。

学校時代は「総合的な学習の時間」の創成期から子どもたちと地域に出て探究的な学びを志向。多様な人々との出会いやつながりの中でこそ、子どもは育つことを確信する。



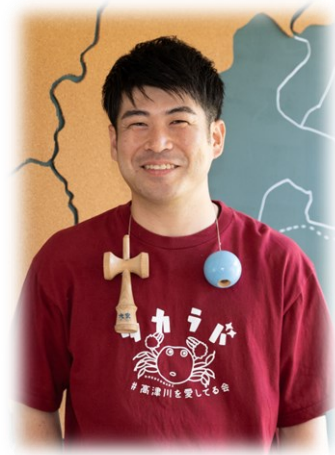
現在は中央公民館長として地区館と連携しながら、「子ども」を真ん中に据えて人と人とをつなぐ仕組づくりにも力を注ぐ。令和 5 年度第 76 回優良公民館表彰受賞。市内に 234 館ある「地域公民館」の活躍を支え広げるための広報活動にも力を入れている。

登山、音楽、俳句、ガーデニング等多趣味で、自身が公民館活動を楽しむ日々を過ごしている。

■円山 洋輔(まるやま ようすけ)／吉賀町柿木公民館主事

1994 年生まれ(30 歳)。兵庫県神戸市出身。近畿大学総合社会学部卒業。大学時代に「まちづくり」の仕事に関心を持ち、卒業後は重度障害者の介護の業務に従事しながら、合間で兵庫県尼崎市の市民活動(今思えば、社会教育活動)に参画をしていた。

ひょんなことから、島根県吉賀町とご縁ができ、
2019年3月(当時24歳)で移住。公民館主事として
社会教育活動に励むこととなる。今では、「これは天職
だ」と思いながら、公私共に楽しんでいる。
「楽しく学ぶ」「こっそりこっそり変える」「関わる全員が
ハッピーになる」をモットーに、子どもの体験活動、地域
住民との関係性づくり、地域と学校の連携等々、多種多
様な側面からアプローチをして社会教育活動に励んで
いる。



■永山 雅子(ながやま まさこ)／富山市立神保公民館主事

大学卒業後、富山県内のテレビ局、ラジオ局にてアナ
ウンサーとして勤務。子育てのためフリーランスを経て、
現職。

第5回全国公民館インターネット活用コンクールにて
銀賞受賞。地域事業の企画運営や、SNSを活用した広
報活動等を通して神保地区の活性化と魅力発信を目指
す。



■野嶋京登(のじま きょうと)／浜松市役所中央区まちづくり推進 課主任、社会教育士

浜松市役所入庁後、税務・企画を経験後、富塚協働セン
ター(公民館)で7年間勤務。地域住民とともに浜松版
パーラー公民館「あおぞら協働センター」を開催し、幅広い
世代間交流や顔の見える関係づくりを担った。また、佐鳴
湖のごみ拾いボランティアの活動に感銘を受け、環境学
習イベント「ごみゼロフェスタ」をはじめとした各種事業を
展開し、地域課題を考えるきっかけとした。

若者の地域づくりへの参画は重要と考え、「アオハル音
楽祭」やハロウィンイベントである「富ックオアトリート」などを開催し、若者たちに
仲間づくりの大切さを伝え、シビックプライドを醸成した。

地元テレビに多数出演し、地元の新聞にもその活動が多く取り上げられ、全国の
優れた公務員として、「地方公務員が本当にすごい!」と思う地方公務員アワード



2023」を浜松市・公民館業界から初受賞した。モットーは、「地域コミュニティの原点は、楽しい時間を共有すること」。

令和 7 年 4 月から中央区まちづくり推進課へ人事異動となり、生涯学習担当となる。プライベートでは、PTA 会長歴任や学校運営協議会長なども務める。

若者たちが新規で立ち上げたサークル「Funnily(ファニリー)」の一員となり、やりたいこと実現に向けてともに汗をかき、ハロウィンイベント「プレハロ★フェス 2025」を成功に導く。まちなかの活性化では、「若者が考えるまちプロジェクト」に携わり、チャレンジ応援ディレクターとしてサポートしている。

■為政久雄(ためまさ ひさお)／広島市亀山公民館主事、社会教育士

広島市生まれ。生活協同組合、学校法人勤務を経て、1998 年同財団へ。2005 年から公民館勤務。

神社や河川敷などの公共空間を活用した「出前カフェ」や、商店街の空き店舗を使った賑わいづくりに公民館サークルを送り出す「動く公民館」など、「ハコモノ」から飛び出す事業を手掛ける。

2013 年から中学生の ESD 活動支援のため、公民館と住民グループで「このまちにくだしたいプロジェクト」を発足。この活動で、2018 年古田公民館が優良公民館表彰最優秀館(文部科学省表彰)を受賞。2020 年からコロナ禍の公民館事業のリモート化を試みる「リモコひろしま」の発足に携わり、オンライン事業による関係人口づくりの可能性を探っている。



■宮武久佳(みやたけ よしひさ)／東京理科大学嘱託教授

共同通信社(記者・デスク)に 25 年勤務した後、横浜国立大学教授、東京理科大学教授を経て、現在は東京理科大学嘱託教授(非常勤)。元日本音楽著作権協会(JASRAC)理事。

専門は、著作権、著作権教育、メディアとコミュニケーション論など。

著書に『知的財産と創造性』(みすず書房)、『ゼロからの著作権 学校・社会・SNS の情報ルール』『正しいコピペのすすめ 模倣、創造、著作権と私たち』『自分を変えたい』(いずれも岩波ジュニア新書)、『著作権ハンドブック 先生、勝手にコ



ピーしちゃダメ』(共著、東京書籍)、『小学生のうちから知っておきたい著作権の基本』(カンゼン社)、『わたしたちの英語』(青土社)など。

現在「著作権」にかかわる勉強会や研修会の講師として、全国各地で活躍中。

■内田 光俊(うちだ みつとし) /岡山市立西大寺公民館館長

1955 年岡山市生まれ。中央大学で社会教育を学び、卒業後、岡山市に職員として採用され、社会教育課等で社会教育主事として 30 年以上勤務。子ども会やジュニアリーダーズクラブの育成、公民館事業の指導や公民館等の建築整備、ESD 推進とユネスコ ESD 世界会議の開催などを担当。管理職として学校教育の指導課も 3 年間経験した。退職後、公募試験に合格して西大寺公民館長として勤務して 5 年目。



現在、就実大学で非常勤講師として「社会教育経営論」を担当。日本公民館学会副会長、日本社会教育学会名誉会員・日本 ESD 学会会員、メールニュース「公民館の風」発行人、優良公民館表彰の審査委員も務めている。

中央公民館時代に、社会教育主事たちと「公民館運営の手引きを」を作成。現在もその改訂版が使われている。公民館では「ラポール公民館」を掲げて、ロビーコンサートやレコードカフェを開催するなど、誰もの居場所、つながりづくりができる公民館を目指すとともに、「雄神みんなで学校ごっこ」など、地域での住民主体の公民館活動による持続可能な地域づくりに力を入れている。

■梅山 吾郎(うめやま ごろう) /SOMPOリスクマネジメント株式会社クライシスマネジメントコンサルティング部 社会公共グループグループリーダー

SOMPOリスクマネジメント株式会社 クライシスマネジメントコンサルティング部 社会公共グループ グループリーダー。一橋大学国際・公共政策大学院 非常勤講師。一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 理事・会計。専門は防災・危機管理。技術士(上下水道部門)。



共著書に『日本最悪のシナリオ 9 つの死角』(新潮社)、『人口蒸発「5000 万人国家」日本の衝撃 人口問題 民間臨調 調査・報告書』(新潮社)、『縁助レジリエンス 医療機関の福島原発危機対応と避難』(東洋出版)ほか。

10. 参加方法

(1)各都道府県公連からの推薦を原則とします。

※推薦方法は、都道府県公連によって異なります。全国公民館連合会へは
12月17日(水)までに推薦をお願いします。

(2)全国公民館連合会へ直接のお申込みも受け付けています。

※セミナーへの参加意識を高め、参加者相互の交流を深めることを目的として、オンライン事前ミーティングを Zoom にて実施いたします。

日時:2026年1月15日(木)14時～16時

より良い研修とするため、セミナーに参加するかたはできるだけご参加くださいますようお願いいたします。

11. 参加にあたって

(1)原則、全日程の参加をお願いします。

(2)会場への道案内、また当日の持ち物など、詳しいご案内については後日、参加者にはご案内いたします。

【お問い合わせ】

公益社団法人 全国公民館連合会事務局 担当:村上英己(むらかみひでき)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

電話:03-3501-9666/FAX:03-3501-3481

E-mail:murakami@kominkan.or.jp